

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
令和元年度第五回企画運営委員会議事概要

【日時】 2020年3月12日(木) 12時00分から13時05分

【場所】 情報科学C棟401室

【出席(敬称略)】 清水(委員長・情)、原(情)、若宮(情)、井上(情)、谷田(情)
橋本(情)、土屋(情)、伊野(情)、平岡(生)、小倉(情)、首藤(情)
荒川(情)、安永(情)、細田一(情)、マハズーン(基)、岩崎(情)

[遠隔参加]

【事務部】 森川(情/事務長)、鐘ヶ江(情/大学院係長)、徳野(情/部門事務局長)
谷川(情/部門事務)、井汲(情/部門事務)

【欠席(敬称略)】 村田(情)、増澤(情)、尾上(情)、藤原(情)、谷口(情)、岡橋(情)
深川(生)、細田耕(基)、石黒(基)

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWInnovation)

議題

1) 教務関係事項(清水教授、資料あり)

① 2020年度カリキュラム等について

●その他①の「来年度の方針を決めるWG」の報告とも重複するが、1月21日に新年度の教務体制を含め検討を行った。

この検討結果をもとに以下の方針を決定し、新年度カリキュラム等を進めていくこととしたい。

(ア) 新年度の教務委員会の体制、担当教員については今年度と基本変更なし。

(イ) 融合研究への取り組みに重点をシフトする。これによりHWセミナーの内容となっている合宿や融合領域研究でのアウトリーチ等、実施内容の見直しを行う。今年度まで開講の「イノベーション実践演習」を来年度は不開講とする。

(ウ) イノベーション創出論の講師陣を新年度から変更し、学内4名、学外3名の計7回の座学とする。

⇒新年度体制、方針、教務内容について承認した。

2) 選抜関係事項(原教授、資料あり)

① 2020年度(8期生)の選抜試験について

2月18~26日で応募を受け付け、11名(うち2名が特別選抜)の出願があった。この応募者について3月1日に選抜委員8名にて書類選考を行い全員合格とした。

書類選考の合格発表を3月4日にWebにて公開した後、3月10日に面接試験を行い、選抜委員の審査の結果11名(うち特別選抜生2名)を合格と判定した。

② 2020年度住友化学高度情報人材育成奨学金について

本プログラムに対して1名の推薦依頼があり、全履修生に対して公募を行った。

4名の応募があり、選抜委員8名で書類選考を行い、このうち3名について3月10日に面接審査(研究発表)を実施し、1名を選出した(情報科学研究科、2020年度D1)。

⇒ 第八期生選抜(11名)、住友化学奨学金(1名)の合否判定について承認した。

3) 海外連携関係事項(若宮教授、資料あり)

① 海外インターンシップ渡航前オリエンテーションと危機管理説明会について

● 昨年末12月13日に今年度2回目の海外渡航前オリエンテーション・危機管理説明会を実施し、海外インターンを予定する履修生5名が参加した旨の報告があった。

● 令和2年度のインターンシップ説明会、ならびに危機管理説明会を履修ガイダンスと同日の4月8日に実施する予定との報告があった。

また、インターンシップに関する悩みがある場合には担当教員、メンターが相談に乗ることとした。

② インターンシップの実施状況について

● 現時点でのインターンシップ実施状況について報告があった。

⇒ 4年次以上にあたる履修生で未実施の者、また3年次となる履修生については、インターンシップ実施に向けた計画的な取り組みをすることを指導する。また、指導教員に対して理解と協力、指導をお願いすることとなった。

4) 産学官連携関係事項(若宮教授、資料なし)

企業等学外のアドバイザーと履修生の来年度の面談の方法について検討する旨の発言があった。

5) 広報企画関係事項(若宮教授、資料なし)

来年度リーディングフォーラムのホスト大学として、大阪大学に決定した旨の報告があった。

6) その他

① 来年度方針を決めるWG(1/21)(清水教授、資料なし)

(上記、議題1①で報告済)

② 2020年度授業料免除(前期)・給付奨学金申請状況(原教授、資料あり)

2020年度の前期授業料免除の申請は29名、給付奨学金の申請は在學生30名で、これを受け付けた。給付奨学金については、予算2千万円の範囲内で給付対象者に配当するため、月額案として3案が提示された。

⇒ 意見交換の後、D学生月額5万円、M学生月額3.3万円とすることで承認した。

- ③ 各学年の履修生人数分布（清水教授、資料あり）
資料に基づき報告があった。新年度の履修生数は57名となる予定。
- ④ 履修生の修了状況と進路状況（第1～第3期生）（清水教授、資料あり）
資料に基づき、現時点での状況の報告があった。
- ⑤ 2020年度予算、学生支援金について（清水教授、資料なし）
次のとおり報告があった。
 - 今年度は奨励金（2千万円）を含め、9千万円強で運営した。2020年度は8.6千万円（奨励金2千万含む）程度との情報を得ている。この額から、2020年度もプログラムの教務活動、学生支援については縮小なく継続できる見込み。
 - 教務関連で確認した方針のとおり、融合研究の取り組みを強化する方向で予算の有効活用を検討する可能性がある。
 - 履修生支援金等についても、ほぼ同様に継続したいと考えている。
- ⑥ 学生の異動について（清水教授、資料あり）
資料に基づき報告があった。
- ⑦ 行事予定について（清水教授）
議題1①の教務関連事項の資料としたカレンダーのとおり、おおよその計画が提示された。大きなイベントについては早めに日程確定をしていただくよう担当教員に依頼があった。
- ⑧ 2020年度企画運営委員会開催日程について（清水教授、資料あり）
資料のとおり2020年度の委員会日程が提示された。

次回：令和2年度 第一回 6月4日（木）12:00